

たものや朱色の欄干とさまざま。生活の空間として花鉢も並べられている。橋を渡って対岸を見渡すと少し視線も変わる。山の緑が意外に近く、狭い谷間の温泉地であることを実感する。

また、桜並木も四季それぞれに風情を加える。春の桜は特に見事、夏は心地良い木陰をつくり出し、秋は落ち葉がゆったりと川面を流れ、冬は雪景色、小枝からはらはらと雪が落ちる様もおもしろい。

木屋町通りを整備し、保存していき、大谿川沿いの住民で木屋町振興会も発足している。向井去来や野口雨情の歌碑の設置、花を植え、縁台を設け、ギャラリーや万灯などのイベントも展開している。

さらに、少し足を延ばせば高僧・沢庵が再興した古刹、極楽寺へ。外湯めぐりに、お土産物屋や遊技場が並ぶ通りを歩くのも楽しいが、ちょっと路地に入り込む寄り道もおすすめだ。

協力：城崎町・木屋町振興会

裏路地探険隊員募集

12月1日(土)但東町探険
京街道宿場町の面影を残す久畑地区を歩く
*実施日の10日前までに、18ページ掲載の12編
集部へ、住所・氏名・年齢・電話番号、裏路地
参加希望とお書きの上、ハガキでお申し込み
ください。開催は午前中、現地集合・現地解散
となります。申込締切日、案内を参加ご希望
の方へ送付致します。

橋の表情もさまざま



料理屋のお品書きケース 朱色の欄干とコーディネート
桜のモニュメント
花鉢が並ぶ庭風の橋
木の欄干、幅も狭い

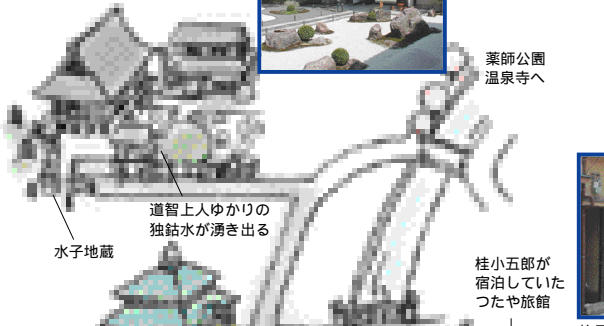


木屋町通りのいろいろな道しるべ



沢庵和尚が再興した極楽寺。山門は江戸中期のもの。美しい石庭を眺めながら境内で一休み。

大谿川に隔てられた山裾の一角にあり橋(三途の川)を渡らなければ行けない生きながらのあの世の極楽寺



業師公園 温泉寺へ

道智上人ゆかりの独結水が湧き出る
水子地藏

桂小五郎が宿泊していたつたや旅館

まんだら湯
717年温泉寺の開祖・道智上人が庵を建て曼陀羅一千日祈願によって湧き出たお湯

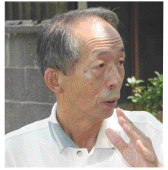
まんだら橋

内湯などたくさんの長い業務用煙突がニョッキリ

夏、桜の木の下に蝉の死骸や大きなクモの巣を発見。ちよっぴり、城崎温泉で昆虫や小動物の死をみつめ、自らの生と重ねあわせ「城の崎にて」を執筆した志賀直哉の気分

道しるべ

会長安田勤さん



案内をしていただいた木屋町振興会のみなさん。親しみやすい景観を整備し保存する活動を展開。会員11名。



森真淳一さん

中島徹雄さん

川面に四季が映る季節の終わりにには桜の花びらや枯れ葉がゆったりと流れる

現郵便局

明治31年に設立された、「温湯館」があったところ城崎温泉で多くの湯治客を集める最初の集客施設で150~200人を収容、花道と回り舞台があり、芝居や浄瑠璃が演じられた

大師山の遊歩道へ

かつて芸妓が芸の練習をした検査(歌舞練場)

赤い欄干

橋の先端にライトがとまる
錦鯉が泳ぐ

張り出した空間に設けられた縁台

置屋さんがあったところ

格子が見事なお家やヌード劇場を発見。木屋町通りに交差する路地にも入り込んで探険だ。

志賀直哉が滞在していた三木屋裏庭を気に入っていた

ヌード劇場

道しるべ

去来の句碑

格子が美しい家。昔、置屋さん御輿を寄贈し、秋祭りには御輿がお礼に巡ってくる昭和20年代までは、家の前まで御輿がすすむ神道として白い砂が敷き詰められていた

冬 WINTER 限定プラン

カニフルコース

舟盛付 18,000円

- お席定1名様ご用(11月~3月限定で)
- 料金は1名様あたり(大人1名様)
- 事前予約費3,000円増となりませす

豪華なカニフルコースに新鮮な舟盛りが付いて、さらにゴージャス!でも、このお値段です!

うれしい特典

食糧にオリジナルパフェをサービスいたします!

ゆめ 寿 荘

〒689-6821 兵庫県東灘区城崎温泉町湯
TEL.0796-92-0186 FAX.0796-92-0123
http://www.yumuraonsen.com/
info@yumuraonsen.com